

詩人尹世霖の童詩の世界①

尹世霖の童詩と出会う 金子總子

生涯学習のための放送大学が1985年に開校して2年後、52歳で入学して初めて中国語を学びました。中国語はおもしろくて、言葉だけでなく、中国の歴史、文化、生活などにも興味が広がり、中国関連の科目を次々に履修して、卒業研究は中国語を活かしたいと思っていました。

政治的、経済的に紆余曲折の激しい中で生活している人々、とりわけ子どもたちのありのままの姿に接したいとの思いから、1992年11月に卒業研究のテーマを求めて北京へ行き、新華書店の児童図書コーナーで探しだしたのが、尹世霖著『小朋友朗誦詩』(1991年 第1版・中国和平出版社)という詩集でした。

B6判の小さな本の表紙は若草色の山波の上に、ニコニコ顔のお日様と白い雲の浮かんでいる青空を女の子が両手を広げて飛んでいる絵が愛らしく、その中に詩人の目を通して、子どもの世界が、喜び悲しみ、そして夢が80首の童詩に描かれていました。

この詩集を手がかりに資料を集め、中国の現代史と尹世霖さんの半生を重ね、童詩に描かれた子どもの心を通して、その時代の特質と変遷を掴みたいと意図した卒業研究『詩人尹世霖の作品とその時代』を書きあげて、1995年3月、放送大学を無事に卒業しました。



尹世霖さん夫妻と筆者（左端）

右下の写真は、卒業した年の8月、北京市の安華里の尹世霖さんのご自宅を訪問し、卒業研究報告書をお届けした日に写したものです。夫人の趙貴玉さんは私の手作りの木目込み人形をとっても喜ばれました。

尹世霖さんの童詩をご紹介しますと思います。

bǎobǎo kuài shuìzháo
宝宝快睡着

tiānshàng xiǎo xīngxīng zhǎ zhe dà yǎnjīng
天上小星星，眨着大眼睛。

qiāoqiāo shuō jù huà kàn wǒ tīng bù tīng
悄悄说句话，看我听不听。

yuèliang shēng de gāo bǎobǎo kuài shuìzháo
“月亮升得高，宝宝快睡着。

bǎobǎo shuìzháo le māma wēiwēi xiào
宝宝睡着了，妈妈微微笑。”

(1983.9.22)

【訳】

坊や おやすみ

お空の上のお星さま 大きなおめめを瞬かせ
小さなお声で話してる 私にかすかにきこえます
「お月さまが昇ったワ 坊や早くおやすみネ
坊やが眠りついたので ママはにっこり笑顔です」

xuěhuā piāo
雪花飘

xuěhuā xuěhuā piāopiāo dà dì pī shàng bái páo
雪花，雪花飘飘，大地披上白袍。

bái páo bái páo zhēn hǎo dà dì chuān shàng miánǎo
白袍，白袍真好，大地穿上棉袄。

bù pà běi fēng hū jiào zhǒng zǐ dì dǐ shuì jiào
不怕北风呼叫，种子地底睡觉。

kāi chūn zhǒng zǐ fā yá qiū tiān liáng shān gāo gāo
开春种子发芽，秋天粮山高高高。

(1979.1.28)

【訳】

ひらひら舞う雪

雪が 雪がひらひらと舞っている
大地は すっぽりと 白い着物で被われた
白い着物 白い着物は すばらしい
大地は 綿入れにくるまれた
北風 吹いても恐くない
種は 地の下深く 眠っている
春には 種が芽を出して
秋には 稔った穀物が 高い高い山になる